

# ヘリコプターを活用した緊急退避活動

## 弊社のリース管理機材が民間人2,100人を緊急退避

毎月業界のトピックをご紹介する本書ですが、1月は「非戦闘員退避活動 (Noncombatant Evacuation Operations: NEO)」とヘリコプターの役割についてご紹介します。

### ■ 米国の非戦闘員退避活動 (Noncombatant Evacuation Operations: NEO)

米国は、紛争や自然災害などの緊急事態において、自国民や他国民の安全確保のため、「非戦闘員退避活動 (NEO)」を実施してきました。NEOは、生命や安全が脅かされる状況下で、軍と民間機関が協力し迅速に人命を保護することを目的とした重要な国際的取り組みで、1950年以降、自然災害を含む多数の事例が実施されてきました。



### ■ 2024年ハイチの非常事態宣言

カリブ海域のドミニカ共和国に隣接するハイチ共和国では、長引く政情不安に加えて、武装集団（ギャング）による暴力行為や破壊活動が頻発しています。昨年3月には政治体制が崩壊し、ギャングが首都ポルトープランスを支配する状態に陥りました。ギャングは首都と近隣の刑務所2カ所を襲撃し、約3,700人の収監者が脱走。政府は非常事態宣言を発令し、アリエル・アンリ首相は2024年4月に辞任しました。これを受け、各国政府はハイチにいる在留自国民に対し退避勧告を行いました。

### ■ ヘリコプターと緊急退避活動

弊社が1996年からリース取引のある米国運航会社は、米国国防総省の要請に応じ、エアバス社製 H225型ヘリコプター2機を出動。3月18日から5月3日の47日間に渡り、ハイチ共和国の首都ポルトープランスおよびカパイシャンから隣国ドミニカ共和国の首都サントドミンゴに米国人、カナダ人、大使館員、外国要人を含む総勢2,100人を退避させました。同機種はエアバス社が製造する大型双発ヘリコプターで、最大離陸重量11,160kg、最大乗員数19名、850km（外部燃料タンク使用時には1,130km）以上の航続距離を誇ります。本件は、同社の30年以上に渡る米国政府機関との信頼関係と高度な能力が求められる極めて困難な活動の一例で、緊急支援活動において重要な役割を果たしています。



ITCは「公共性」・「社会貢献性」の高いリース事業を法人・個人の投資家様にご提供して参ります。ご関心をお持ちいただけましたら、是非ご連絡ください。

参考: 国際情報ネットワーク分析 IINA、エアバス社等、各社ウェブサイト